



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社プレイド 上場取引所 東
コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役執行役員CEO（氏名）倉橋 健太
問合せ先責任者（役職名）執行役員 VP of Finance（氏名）高橋 雄佑（TEL）03 4405 7597
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	6,547	24.4	986	351.0	884	881.4	844	—	641	—
2024年9月期中間期	5,264	28.4	218	—	90	—	60	—	54	—

（注）1. 包括利益 2025年9月期中間期 681百万円（—%） 2024年9月期中間期 4百万円（—%）

2. 調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋株式報酬費用＋その他一時費用

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	15.79	15.57
2024年9月期中間期	1.36	1.33

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	7,049	3,973	55.2
2024年9月期	7,299	3,203	43.0

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 3,892百万円 2024年9月期 3,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		調整後営業利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	13,575	23.5	1,490	—	1,231	371.8

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋株式報酬費用＋その他一時費用

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	40,839,944株	2024年9月期	40,630,944株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	161,994株	2024年9月期	133,632株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	40,589,481株	2024年9月期中間期	39,710,563株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結会計期間)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(中間連結会計期間)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「データによって人の価値を最大化する」をミッションに掲げ、世の中に溢れる様々なデータを生活者(注1)にとって価値あるものとして還元し、豊かな体験を流通させることを目的に、当社の提供するCX(注2)(顧客体験)プラットフォーム「KARTE」をウェブサイトやスマートフォンアプリを運営する企業に向けて、クラウド方式(注3)で提供しております。

ショッピングや旅行、金融など様々なサービスがインターネットを介して提供されるようになった今、生活者が企業に求めることは、「自宅にいながら買い物できる」「予約できる」といった単なる利便性だけではなく、自分の興味や状態に合った最適な提案を受けられる良質なコミュニケーションやその先の体験へとシフトしていると当社グループは考えております。

一方で、企業がそれに応えるためには、データの蓄積、統合、分析を通じて一人ひとりの状態を正しく理解し、それに基づいて適切なコミュニケーションを図る、あるいはウェブサイトやスマートフォンアプリをパーソナライズさせる仕組みを構築する必要がありますが、これらの取り組みは企業にとって複雑で難易度の高いものとなっているのが現状です。

企業は「KARTE」を活用することにより、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上のリアルタイム行動データを中心とする様々なデータを、ユーザー単位で解析することができます。それによって、一人ひとりの興味や状態が可視化され、ユーザーをPV(注4)やUU(注5)といった塊の「数字」としてだけではなく、一人の「人」として理解しやすくなると当社グループは考えております。その上で企業は、「KARTE」内で一人ひとりの興味や状態に合わせた多様なコミュニケーション施策を実施し、その結果を検証することなどができます。

顧客体験向上やデータ活用に対する企業の関心が高まる中、「KARTE」はウェブサイトやスマートフォンアプリ上のマーケティング領域に留まらず、カスタマーサポート領域など様々な企業活動において活用いただいております。今後も「KARTE」の機能強化や各種プロダクトの提供を通じて、企業が統合的にユーザーを理解できるデータ環境の拡充を進めていきます。

当中間連結会計期間においては、「KARTE」の販売強化に向けた組織変更や人員増強を行ったほか、更なる事業領域の拡大に向けた取り組みも行いました。

この結果、当中間連結会計期間の末日における当社グループのARR(注6)は10,932,296千円となり、同期間の当社グループの経営成績は、売上高は6,547,247千円(前年同期比24.4%増)、営業利益は884,702千円(前年同期は営業利益90,148千円)、経常利益は844,431千円(前年同期は経常利益60,798千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は641,109千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益54,092千円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注1) 世の中一般の不特定多数の人々を「生活者」、企業が商品・サービスを提供する相手を「ユーザー」と表記しております。
- (注2) Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語であり、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客がよいと感じられる体験、つまり「顧客が体験して得られる価値」までも含めて定義しております。
- (注3) クラウドコンピューティングの略語であり、ソフトウェア等のシステムをインターネット経由でサービス提供することを前提とした仕組みの総称であります。
- (注4) Page View(ページビュー)の略語であり、ウェブサイト内の特定ページが開かれた回数を表し、ウェブサイトがどのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つです。
- (注5) Unique User(ユニークユーザー)の略語であり、特定の集計期間内にウェブサイト又はスマートフォンアプリに訪問したユーザーの数を表す数値です。
- (注6) Annual Recurring Revenueの略語であり、各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は6,068,923千円となり、前連結会計年度末に比べ174,474千円減少いたしました。これは主に売掛金が175,669千円増加した一方で、現金及び預金が324,049千円減少したことによるものであります。固定資産は980,855千円となり、前連結会計年度末に比べ75,675千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用38,866千円、繰延税金資産が36,544千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,049,779千円となり、前連結会計年度末に比べ250,150千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,884,295千円となり、前連結会計年度末に比べ691,603千円減少いたしました。これは主に契約負債が473,047千円減少したことによるものであります。固定負債は191,628千円となり、前連結会計年度末に比べ329,398千円減少いたしました。これは長期借入金が329,398千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,075,923千円となり、前連結会計年度末に比べ1,021,001千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,973,856千円となり、前連結会計年度末に比べ770,851千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が641,503千円、資本金46,419千円及び資本剰余金が39,602千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は55.2%(前連結会計年度末は43.0%)となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ324,049千円減少し、4,420,875千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれぞれの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は28,482千円(前年同期は49,679千円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益829,913千円を計上した一方で、売上債権の減少額175,669千円、契約負債の減少額473,047千円、未払消費税等の減少額139,638千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は56,460千円(前年同期は17,070千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出49,205千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は239,106千円(前年同期は368,846千円の増加)となりました。これは主に、新株予約権の行使による収入92,299千円があった一方で、長期借入金の返済による支出324,418千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました2025年9月期の通期連結業績予想につきましては、本日(2025年5月15日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しておりますのでご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,744,925	4,420,875
売掛金	1,139,133	1,314,802
前払費用	368,775	341,053
その他	15,348	12,719
貸倒引当金	△24,784	△20,527
流動資産合計	6,243,398	6,068,923
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,227	26,227
減価償却累計額	△26,227	△26,227
建物（純額）	0	0
工具、器具及び備品	225,272	216,930
減価償却累計額	△163,840	△151,763
工具、器具及び備品（純額）	61,431	65,166
有形固定資産合計	61,432	65,166
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	—	51,038
のれん	143,579	126,687
無形固定資産合計	143,579	177,726
投資その他の資産		
投資有価証券	49,914	26,079
破産更生債権等	3,121	3,316
敷金及び保証金	291,623	288,428
従業員に対する長期貸付金	2,029	921
役員に対する長期貸付金	10,007	—
繰延税金資産	434,334	397,790
その他	63,609	24,742
貸倒引当金	△3,121	△3,316
投資その他の資産合計	851,519	737,962
固定資産合計	1,056,531	980,855
資産合計	7,299,930	7,049,779
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,362	9,549
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	699,666	704,646
未払金	709,795	768,515
未払法人税等	228,020	200,610
契約負債	852,480	379,432
受注損失引当金	77,224	27,793
その他	900,348	693,748
流動負債合計	3,575,899	2,884,295
固定負債		
長期借入金	521,026	191,628
固定負債合計	521,026	191,628
負債合計	4,096,925	3,075,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,091,157	3,137,576
資本剰余金	5,174,628	5,214,231
利益剰余金	△5,103,858	△4,462,749
自己株式	△281	△453
株主資本合計	3,161,646	3,888,605
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△21,607	3,644
その他の包括利益累計額合計	△21,607	3,644
新株予約権	7,147	10,549
非支配株主持分	55,817	71,057
純資産合計	3,203,004	3,973,856
負債純資産合計	7,299,930	7,049,779

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,264,996	6,547,247
売上原価	1,524,436	1,734,386
売上総利益	3,740,559	4,812,860
販売費及び一般管理費	3,650,411	3,928,158
営業利益	90,148	884,702
営業外収益		
受取利息	95	1,971
ポイント還元収入	1,856	1,534
その他	165	801
営業外収益合計	2,117	4,307
営業外費用		
支払利息	7,110	12,123
支払報酬料	4,071	2,300
譲渡制限付株式関連費用	7,418	11,504
為替差損	4,247	14,543
支払手数料	4,166	—
その他	4,451	4,106
営業外費用合計	31,466	44,578
経常利益	60,798	844,431
特別利益		
固定資産売却益	—	2,169
新株予約権戻入益	—	7,147
特別利益合計	—	9,316
特別損失		
投資有価証券評価損	3,683	23,835
特別損失合計	3,683	23,835
税金等調整前中間純利益	57,115	829,913
法人税、住民税及び事業税	46,127	148,164
法人税等調整額	2,559	25,400
法人税等合計	48,687	173,564
中間純利益	8,428	656,348
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△45,664	15,239
親会社株主に帰属する中間純利益	54,092	641,109

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	8,428	656,348
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△4,116	25,251
その他の包括利益合計	△4,116	25,251
中間包括利益	4,311	681,600
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	49,976	666,755
非支配株主に係る中間包括利益	△45,664	15,239

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	57,115	829,913
のれん償却額	27,046	16,891
減価償却費	17,748	20,675
株式報酬費用	101,536	84,941
敷金償却費	3,274	3,199
投資有価証券評価損益(△は益)	3,683	23,835
新株予約権戻入益	—	△7,147
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△266	△4,061
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△30,438	△49,431
受取利息	△95	△1,971
支払利息	7,110	12,123
支払手数料	4,166	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,169
売上債権の増減額(△は増加)	△208,409	△175,669
前払費用の増減額(△は増加)	234	△11,517
未払金の増減額(△は減少)	25,531	52,125
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,964	△139,638
契約負債の増減額(△は減少)	△149,589	△473,047
その他	91,688	△11,038
小計	△27,699	168,012
利息及び配当金の受取額	95	1,971
利息及び保証料の支払額	△11,644	△20,610
法人税等の支払額	△10,430	△177,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49,679	△28,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,920	△19,925
有形固定資産の売却による収入	—	1,569
無形固定資産の取得による支出	—	△49,205
敷金及び保証金の回収による収入	5,763	—
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	1,086	1,097
役員に対する長期貸付金の回収による収入	—	10,007
その他	—	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,070	△56,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,660	—
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△116,104	△324,418
新株予約権の行使による株式の発行による収入	86,613	92,299
自己株式の取得による支出	△2	△172
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△6,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	368,846	△239,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	302,097	△324,049
現金及び現金同等物の期首残高	3,827,359	4,744,925
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,129,457	4,420,875

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。